

単元名：

「伝統工芸品のよさに触れよう」

(全 時間扱い中 第3時)

授業日時 2021年10月22日(金)第2校時

授業学級 4年2組

授業会場 4年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

それぞれの都道府県の伝統工芸品のよさを伝える新聞を作った子どもたちが、和紙のよさについて考える場で、和紙は洋紙に比べて本当にやぶけにくいのか調べることを通して、伝統工芸がどうして受け継がれているのか考えることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 自分の調べた伝統工芸品について紹介する。	〇〇県のやつが聞きたい。 どうやって魅力を伝えようかな。 〇〇が気に入ったな。 本当に全部の都道府県にあるんだ。	「新聞にまとめた伝統工芸品の良さをみんなに紹介しよう。」 ※ポスターセッション形式で自分の新聞・前時のワークシートのいずれかについて発表する。【chromebook、ワークシート】	15
	【学習問題】和紙のよさって何だろう？			
	【学習課題】和紙は本当にやぶけにくいのか、調べてみよう。			
展開	2. 「世界にほこる和紙」を音読する。	「世界にほこる和紙」でしょ！ 44 ページにあるよ。 説明文かあ。	「教科書の中にも伝統工芸品について書かれた文章があるから読んでみよう。」	5
	3. 筆者の思いを読み取る。	ほこりに思っている。 より多くの人によさを知って使ってほしい。 やぶれにくく、長持ちする。 自分の気持ちを伝えられる。	「筆者は和紙についてどう思っている？(文章中にそれが分かるところはなかな)」 「(筆者が述べている) 和紙のよさって何かな。」	5
	4. 和紙は本当にやぶけにくいのか調べる。	うーん、そうなんじゃない？ うわっ、すごい。 和紙はプリントよりもやぶけにくい！ せんいがとっても長い！	「よさの一つにやぶれにくいってあるね。本当かな？」 ※内山和紙、習字用の半紙、洋紙（プリント）を水に濡らしてやぶってみる。	10

終末	5. 授業の振り返りをする	機械じゃないのがすごい。 だから有名なのかなあ。 和紙の作り方を見たいな。 弟子入りする人がいたんだよ。 和紙は昔必要だったからじゃない？ 機械では和紙を作れないから。	「人の手によってこんなにやぶけにくい和紙がつくられているのって、すごいよね。」 「どうしてこの技術が今まで絶えることなく受け継がれてきたんだろうね。」 【ワークシート】	10
	【本時の評価（評価する対象）】 伝統工芸品がどうして受け継がれているのか考えることができる。（ワークシート、発表）			